

# ひめだ高宏ニュース

日本共産党 和歌山市公議員

No.1061

15.7.8

## 6月定例会市議会報告

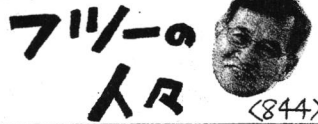
サッカー女子ワールドカップで日本はアメリカに2-1で敗れ準優勝。前半16分で4点入れられ、どこまで点を取られるのかと思いましたが、2点返したことも含め、やはり日本女子は強いと感じ。

7月8日(水)6月定例会市議会が終わりました。日本共産党市議団は、22件の議案のうち問題ある4件に反対、反対討論を、ひめだが行いました。

## マイナンバー制…今おがすべきは…

議案4件に対する日本共産党市議団の反対討論は、次のとおりです。

議案第1号、一般会計事務処理等に関する条例(マイナンバー)について、マイナンバー制度への移行に係る事務処理上には賛成できません。制度そのものに問題があることを懸念しています。市民生活にとって、メリット



「フリーの人々」  
ギリシヤ大差で「緊縮拒否」  
国民投票

「この方は緊縮拒否を拒否するわけにはいかんナ!

99.0

間食禁止  
2015.12月まで  
99kg復活  
記念「エイッ

よりデメリットが大きいということは、議案審査の中でも明らかになりました。法律により、執行そのものは避けられないとしても、少なくとも年金情報流出問題を解決してから進めないと安心して生活できません。いまおがすべきことは、国にこのことに対する責任です。以上の理由により、議案第3号の個人情報保護条例の改正にも賛成できません。

議案第18号は、芦原文化会館新築工事の工事請負変更契約の締結についてです。地下水位が高く基礎掘削に仮設工事が必要になったため増額変更ですが、当初段

階での検討に疑義があり、賛成できません。

議案第20号は、特設教育自動車購入契約です。一般競争入札の応札が、社

けで、その業者と契約しました。木の登録業者の中には、ほかに参加できる業者があり、競争してない一般競争入札には反対します。

## 今週の「フリーの人々」

(その7)

私は「緊縮の道」を行く先日、集金とよき日曜版の読者から「ギリシヤの経済破綻から、日本は大丈夫なのか」と尋ねられました。日本の借金はギリシヤよりウンと多いものの、国民からの借金なので、大丈夫などというワイドショーの受け売りで「まあ大丈夫じゃないか」と答えたのです。その方から「2度と戦争はいやだけど戦争になりませんか」という話

になりました。自ら味方を敵に回すような安倍首相の強引なやり方は長続きしないことや憲法を変えるためには国民投票が必要などを話し、国民投票で平和憲法を早くと話ししました。戦争体験者を不安に追い込む政治には腹が立ちます。

風呂上がりには車を乗り赤旗カレンダーに記録してありますが、再び3ヶ月に突入しそうなので、年末まで間食をやめるとにしました。



ひめだ高宏

# 安心の医療受けれる国保に

6月29日(月)日本共産党の南田ナチ子市議員は、国民健康保険について一般質問しました。南田議員は、高すぎる国保料のため、滞納世帯が2013年度72.86世帯から2014年度1万4657世帯と34世帯以上も増えたことを示し、滞納せざるを得ない実態をきちんとはっきり、安心して医療にかかわる取組山市と

すすむよう取り組みを求めました。  
南田議員は、市の管理する公園のトイレについて、身体にマヒなどの障害がある方からトイレレットペーパーの入れ替えに苦労した話や自ら調べたトイレの破壊や汚水について紹介。市の現状把握、清掃や破壊の補修の実況并況について質問し改善を求めました。

# 「平和安全法制」と「年金改善」

日本共産党市議団が紹介議員となり6月定例会市議会に出された請願2件は、いずれも他の議員の賛同が得られず不採択になりました。  
一つは、「集団的自衛権」行使を具体化する「平和安全法制」に反対することと求める請願で、和歌山県地方労働組合評議会、平和・民主・革新の日本をめぐらす和歌山県の会、安保系約

反対の請願  
不採択!!

たしても沖繩は捨て石にされる」と述べ、大田元沖繩県知事は辺野古新基地建設に反対を表明し、「軍隊が住民を守らないことは歴史の教訓」と述べ、法案の撤回を求めました。法案に賛成の中山石橋市長は「国民の理解は深まっていた」と慎重な審議を求めました。

誠和クラブの山本忠相議員と永野裕久議員は賛成。  
一つは、心的年金の改善に反対する意見書提出を求める請願で、全日本年金者組合和歌山支部から出されたものです。

6月定例会市議会で、全会派が共同で提案し可決した国への意見書は、地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書です。  
乳幼児医療費助成制度や重度障害者医療費助成制度で窓口無料(現物給付)とした場合、国は助成により、受診しやすくなり医療費が増えると言い、その分は自治体が負担するべきだと、自国保が負担するべきだと、国民健康保険の増養給付に対する国庫負担金を減額しています。  
意見書は、少子高齢化が進行する中で、子育て支援地方創生を進めるために、この国保の減額調整措置について、早急に見直しを行つことを求めるものです。

# 「いんば」は日本共産党です



戦争法案に強い危惧と党側が来週にも戦争法案の強行採決のかまえを見せる中、衆院安保法制特別委員会が6日、沖縄特別委員会といたしまつて地方参考人質疑を行い

ました。  
那覇市では稲嶺名護市長が、戦争法案は「国のあり方を支える危険なやり方なりなものだ」と指摘。「法案が成立すれば日本一体の軍事行動が増え、他国の紛争に巻き込まれるリスクが高まる。その恐れが米軍基地が集中する沖縄が一番に狙われ、再び戦場になる。ま

たしても沖繩は捨て石にされる」と述べ、大田元沖繩県知事は辺野古新基地建設に反対を表明し、「軍隊が住民を守らないことは歴史の教訓」と述べ、法案の撤回を求めました。法案に賛成の中山石橋市長は「国民の理解は深まっていた」と慎重な審議を求めました。

# 森下ナチ子市議員の賛成討論

6月定例会市議会に出された2件の請願について、日本共産党の森下ナチ子議員が賛成討論を行いました。2名の固定資産評価審査

委員会(委員・建築士会、宅建協会)からそれぞれ推薦した、固定資産評価委員1名の選任に、日本共産党市議団は賛成。全議員賛成で可決。